事務局

皆さんこんにちは。

只今より、令和5年度第2回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、委員の皆様方には、次の点についてご了解いただきます ようお願いいたします。

本委員会について、原則公開となっており、本日の傍聴者は 1人です。

次に本日の内容につきましては、議事録を作成いたしますため、録音させていただきますので、ご了承願います。

最後に、本日の委員会の内容の中で個人のプライバシーに関する内容が含まれた場合は、守秘義務も含め、適切に対応していただきますようお願いいたします。

以上のことについて、委員の皆様方には、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

事務局

会に先立ちまして、前回の会議録についてです。資料1について、委員の皆さまにはすでに送付させていただき、ご意見いただいた点については一部修正しております。お示ししている内容で決定してよろしいでしょうか。 (賛成)

ありがとうございます。

議事録につきましては、当時提示した資料とともに後日ホームページにアップする予定となっておりますのでご了承ください。

それでは、これより、○○委員長と○○副委員長に司会進行していただきます。 ○○委員長、○○副委員長よろしくお願いします。

委員長

本委員会の委員長を務めさせていただきます○○でございます。よろしくお願いいたします。

委員会規則第3条にありますように、本委員会が担う事務を皆様と共に協議・

情報交換を図りながら、部活動のあり方の協議について取り組んで参りたいと考えております。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、次第2「地域移行に向けての課題について」です。

I点目 市内公立中学校の部活動加入状況について、事務局よりお願いします。

事務局

前回の会議にて、委員のみなさまより追加資料の依頼がありましたことを受け、 資料を作成しましたのでご覧ください。

資料2です。

前回の会議でお示しした資料に、各学校の学校部活動への加入率や、学校以外の文化・スポーツ活動への参加状況について追記しております。

加入率については、学校にばらつきはあるものの、平均して約80%の生徒が学校部活動に在籍しています。

学校以外の文化スポーツ活動への参加については、I3種目にI22名の生徒が参加しています。なお、生徒への直接的な調査はしておらず、学校で把握している範囲での調査であることをご了承ください。

以上です。

委員長

80%という在籍率は予想以上に大きい。各学校の校長先生初め、先生方の努力によるもの。

何か質問やご意見等はございますか?

委員

クラブ数は昔に比べたらだいぶ減っているという傾向にはある。

会議中などでも子どもたちが安全に活動できるよう複数顧問制はどの学校でも行われている。子どもの数の減少にともなう教員の減少が影響しており、数でいうと限界がきている。

委員

生徒たちが中学校に入る大きな楽しみの一つにクラブ活動があることがこの数字に表れている。

委員

保護者も同じように部活動に期待しているだろう。また、部活動が減少していく中、新たな部活動を作ってほしいという声を生徒や保護者から挙がることもあるが、現実的には厳しい。

委員長

続いて、2点目 地域団体の状況についてです。

市で把握している地域スポーツ団体の状況について、スポーツ振興課より報告 お願いします。 委員

報告します。資料3をご覧ください。

スポーツ振興課からの資料は1点になります。

本課につきましては、ご紹介できるような資料を持ち合わせておりませんので、 こちらの資料に関しましては、瀧ヶ平委員を通じて藤井寺市体育協会へ調査を行ったものです。

現在、中学生を対象に活動しているスポーツ団体としては、お手元にお渡ししている資料のうち、サッカー・剣道・バドミントンの3種目でございます。そのうち剣道とバドミントンに関してですが、所属している中学生は既に小学生の時点で所属し、その延長で指導を受けているとのことです。その他各種活動団体についても、名称等を掲載しておりますので、よろしくお願いします。

この結果を受け、とりわけ指導者に関しては、(1)指導員の確保、(2)主に小学生を指導している方が中学生を指導できるかどうか、が検討課題であるかと思います。

以上です

委員長

次に地域文化芸術団体について、協働人権課、生涯学習課より報告お願いします。

委員

まずは協働人権課より報告します。資料4をご覧ください。

地域団体活動状況表の文化連盟分について、各協会は複数の団体が加盟して構成されている場合が多く、所属人数は把握できていないところが多くありました。指導者については、各団体によって位置付けが違っており、単純に比較できないため個別に相談という形です。

そういった中で、学校部活動への協力意向について、中学校の部活動として関連性が高い団体に確認したところ、茶道協会及びいけばな協会では、茶道といけばなは藤井寺中学校で教えています。道明寺中学校ではかつてボランティアで教えていましたが、今は行っておりません。また、いけばなは40人くらいの先生がいますが、茶道は高齢化で少ないです。ただ、クラブ活動なら何とかなると思うとのことでした。課題点としては、いけばなについては保護者の費用負担が気になります。さらに、美術協会では以前から協会内でも子どもたちに教えることを前向きに検討するような話は出ていました。書作家協会に聞きますと、各先生が週に日を決めて指導することはやぶさかではないが、平日毎日とか毎週土日となると、調整が必要かもしれないとのことです。書道のすそ野を広げていきたいと考えており、基本的なことは共通していますが、高度になってくると先生によって指導方法は違ってくることが気になります。市民音楽団については、一人の方が仕切っているのではなく、みんなが平等でやっているので、自分の一存で決めれるものではない。団員は社会人なので、3校の面倒を見れるかどうかは何とも言えないとのことでした

以上です。

委員

続いて生涯学習課より報告します。資料5をご覧ください。

生涯学習課からの資料は2点になります。まず1点目は、本課公民館事業にて実施しております文化教室の資料です。文化教室というのは4月に広報等で募集し3月までの約1年間にわたり全10回~20回程度の講座を受講いただいております。講座の内容については資料の通りでございます。講師を務めていただいております皆さまは、文化教室が開催される曜日に合わせてセンターに来館され、時間をずらして自主学習グループでの講師も兼ねられている方もおられます。全体的にお忙しい中で調整いただいているという感じをもっております。また、文化教室の開講にかかる講師の方に支払う報償ですが、1回につき6,000円となっております。

2点目の資料についてです。こちらは市 HP でも掲載させていただいているものになります。市立生涯学習センターの貸室は、事前にグループ登録をしていただいております団体のみ利用できます。その登録グループの内、自らの活動内容について情報を公開してよいと了承をいただいたグループ様の情報になります。ジャンル別に掲載しております。

以上です。

委員長

ただいま、各委員より地域団体の状況についてご説明いただきました。 何か質問やご意見等はございますか?

委員

やはり今紹介のあった既存団体にお願いしていくのであれば、どんな形で進めていくのか課題になる。まずは、この部活動の状況や地域移行について、団体へ個別に説明をしていくことも必要。その際、アンケート形式で各団体にご意見をいただく方法も検討すべき。

委員

別の市で、学校にバレーボール部がなく、小学生を教えている地域団体に中学生も受け入れてほしいと希望していたのですが、なかなか難しかった。

委員

地域の団体は指導者が年配であることが多く、また中学生年齢の子どもを指導することができる受け皿を探すことは非常に課題が大きいのではないか。

地域団体の受け皿以外にも、例えば水泳など民間で経営している団体へも対象を広げてはどうか。

委員長

民間経営されている団体について、事務局は何か情報はありますか

事務局

今は特段持ち合わせておりません。これから調査してまいります。

委員

若い指導者が行っている民間クラブチームなどにも声掛けしていくといいので は。

委員

地域団体の方々は趣味の一環として活動されている方が多く、子どもの指導となると課題も多い。

委員

部活動の意義である、子どもたちの育成ということであれば、資格をしっかりと 持った指導者でないと、地域移行した後も残っていかないのではないか。また、市 の町おこし、スポーツで盛り上げていくということで、財源投資を行うなどしていか ないと、すべてを地域部活動にするのは財源的に継続するのが、難しい。

委員

スポーツ振興課の職員が アルティメットという競技のフライングディスク競技の日本代表の選手に選ばれている。今、小学校 5 年生対象にドリームプレゼンターとして、彼が講義している中でフライングディスクも教えており、これを中学校でも継続できないかという話を校長先生と話をしたことがある。例えば、市内の 3 つの中学校を対象に I チームを作るという発想で、それが地域部活動の I つになることも検討できるのではないかと考える。

委員

藤井寺市は面積が小さい地域なので、放課後に拠点校など I つの場所に集まって活動することは、他市町村と比べやりやすい。

委員

新たな種目としてだけではなく、現在学校で行っている部活動の種目についても、Iつの藤井寺市の中学校クラブチームのような形も検討してもよい。

委員

現在、藤井寺市では、専門的な指導や審判ができない教員が顧問を受け持つケースが多々ある。特に審判では、そのジャッジが生徒の試合結果に大きく左右するようなこともあり、非常に精神的に負担となっている。ルールなどを覚えることに時間がとられ、授業準備等にも影響が出ている。

委員

予算をしっかり付けて、専門家資格を持った人たちにクラブチームを作って、子 どもたちに積極的に PR して、活動していくというのが一番現実的だと考える。

委員

やはりお金と時間が必要。先生方から部活動の負担を取り除くべき。資格を取 得することを補助することが、広い受け皿づくりにつながるのではないか。

委員

拠点校実施と新たな種目の実施などが進めていきやすい方向だと考える。そこ に民間の力も活用出来たらいいのではないか。

委員

NPO 法人を立ち上げ、運営ができないかと思う。何かそういう人たちへのアプ

ローチができれば、動き出す人がいると感じている。

委員

平日の移行まで考えると、平日の夕方に指導する時間を確保できる指導者や 団体は、地域には限られているのではないか。ならば、思い切って活動開始時間 を 6 時以降など遅くすることも検討する価値がある。

委員

例えば NPO 法人であっても I 団体のサッカーチームが非営利で活動しようと 思ってもやはり I ヶ月 I 人、I 万円ぐらいのお金っていうのは必要になり、さらに試 合会場までの交通費や会場費も保護者への負担となると、そういった部分も今後 クリアしていくのはある。

委員長

他ご意見はいいでしょうか。

今後の取組みについて事務局どうでしょうか。

事務局

多くのご意見ありがとうございます。民間の団体や、地域団体へのアプローチについて、今後庁内関係課と連携し、調査をすすめてまいります。

委員長

続いて、3点目 アンケートの案について、事務局よりお願いします。

事務局

資料6をご覧ください。前回の会議で委員さまより、保護者や生徒のニーズを 把握することの必要性に対するご意見がありました。

今回事務局にて、アンケート案を作成しましたので、ご覧いただき、ご意見等あればお願いします。この案は、事前に学校へは校長先生を通じて内容の確認とご意見をいただいており、その意見等を反映させております。また、このアンケートは、この会議で決議され次第、あり方検討委員会委員長名で学校を通じて生徒・保護者へ依頼する予定です。

以上です。

委員長

事務局よりアンケートの実施について提案がありました。 何かご意見等はございますか。

委員

意見ということではありませんが、本日欠席している委員より、地域移行によって費用負担が発生した場合、家庭によって差があるので参加できる人と参加できない人が出てくるではないかというふうに心配に思いましたというご意見を一ついただいています。

委員

保護者アンケートの13番の費用負担について、10~12の質問同様に休日ということがわるよう記載したほうがよい。また、費用負担の選択肢が少し多く思う。 月4~5回程度なので、上限は10000円以上でよいのでは。あと、費用負担が一 切したくないという選択肢もあるほうがよいのでは。

委員長 事務局いかがでしょうか

事務局 ご意見を反映し、修正いたします。

委員長 それでは、出た意見を修正し、アンケートを実施してもよろしいでしょうか。賛成 の方は挙手をお願いします。

(挙手)

委員長 賛成多数ですので、事務局はアンケートの実施を進めてください。

次回の会議にて、アンケートの集約が間に合えば、共有をよろしくお願いします。

事務局 続きまして、次第の3「事務連絡」についてです。

事務局お願いします。

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。次回の 日程調整をさせていただきます。

11/10(金)午後5:30でどうでしょうか?

(無理ならその場で調整)

それでは、11/10(金)午後5:30で開催いたします。

開催場所が決まりましたら正式なご案内を送付させていただきます。

委員長 これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これを持ちまして「令和5年度

第2回 藤井寺市地域部活動あり方検討委員会」を閉会といたします。

ありがとうございました。